魅力ある都市づくり　「コンパクトシティ」の推進

事業名	一般国道4号　仙台市若林地区高機能舗装（直轄）　（宮城県仙台市） 一般国道13号　山形市東青田地区高機能舗装（直轄）　（山形県山形市）　他

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成１７年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

事業の必要性」

一般国道4号仙台市若林地区、一般国道13号山形市東青田地区では交通量の増加により、騒音が環境基準や要請限度を超過するなど、早急な沿道環境の改善が必要となっています。

事業の概要」

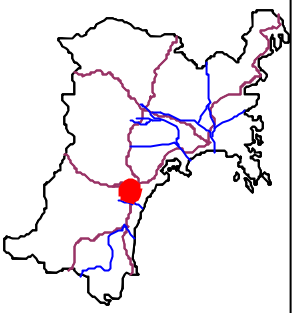
沿線の人々が快適な生活を送ることができるよう、夜間の騒音が環境基準や要請限度を超過する区間を中心に高機能舗装を実施します。

成果目標	現在	5年後	長期
低騒音舗装化率	43%(直轄)	８０%(直轄)	約100%(直轄)

※目標年次は、「社会資本整備重点計画」(H15～19)に即し、H14年度末を現在とし、５年後(H19)の目標値を設定。

※本成果目標の定義は、直轄国道の沿道地域において昼または夜間の騒音が環境基準を超過する区間における低騒音舗装の実施延長の割合である。

宮城県　他）





▲仙台市若林地区

■高機能舗装には、次のような効果があります

○沿道環境への改善

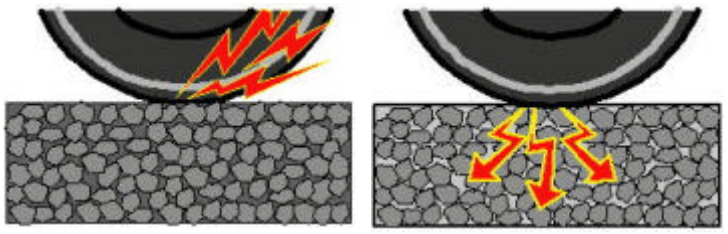
▼車両通行に伴う騒音の低減

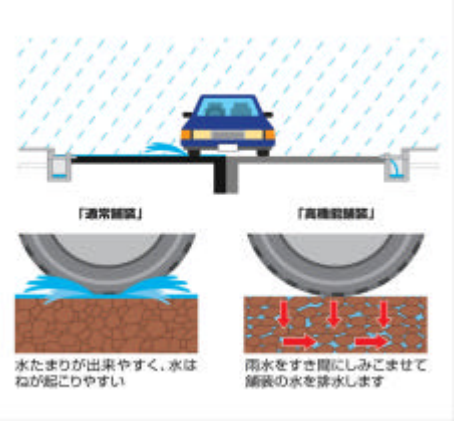
（一般的に3dB程度騒音が低減されます）



「通常舗装」
タイヤの溝と舗装面の間に挟まれた空気の逃げ道がなく、空気圧縮音、膨張音が発生する。

「低騒音舗装」
空隙に空気が逃げ、空気圧縮音、膨張音の発生が小さい。





▲雨天時車両による水はね低減

○走行安全性の向上

・雨天時水膜によるスリップ等が低減（ハイドロプレーニング現象が抑制されます）

・走行視認性の確保（雨天時走行車両によるスモーキング現象が低減されます）

・光の反射が低減（雨天夜間走行時の視認性が向上します）

平成１７年度事業費及び事業内容

○事業費：仙台市若林地区300百万円、山形市東青田地区180百万円

○仙台市若林地区、山形市東青田地区等において低騒音効果のある高機能舗装を実施します。

事　業　効　果

○環境基準や要請限度を超過する箇所の騒音が低減され沿道環境の改善が図られます。

○雨天時の走行安全性が向上します。